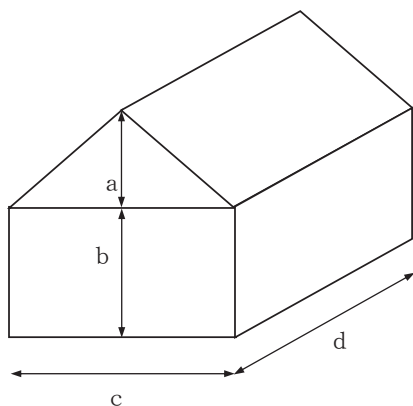


くん煙剤等の使用方法

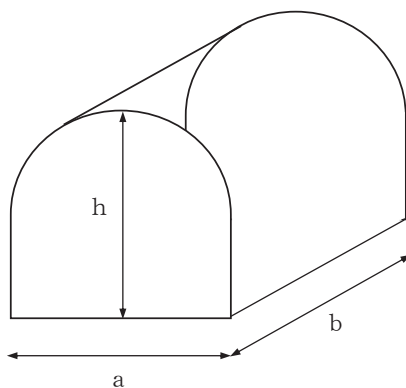
1. くん煙剤使用上の注意

- (1) ハウスなどを密閉し、容積により使用量を定める(下図参照)。
- (2) 一般に、夕刻にくん煙を実施し、翌朝開放する。曇天の際は日中でも可能であるが、ハウス内の温度に注意する。
- (3) 処理間隔は7～10日おきとする。
- (4) 薬剤が葉の裏面に付着しにくいので、散布剤を適宜併用する。
- (5) 室温が30℃以上のときや、モヤのたちこめている際の使用は避ける。
- (6) 幼苗時や定植直後は薬害がやすいので使用を避ける。また、植物が軟弱であったり、生育不良であったりするときにも使用を避ける。
- (7) くん煙中は室内に入らないようにする。
- (8) 風の強い日は均一にくん煙できないので避ける。
- (9) 植物に直接濃い煙があたらないようにする。
- (10) 生育初期は散布による方が経済的で効果も高いので、散布により伝染源を減らしておく。生育後期の散布作業の困難な時期にくん煙剤に切り換える。

〈ハウス、温室などの容積簡易算出法〉



$$\text{容積} \cong 80/100 \times (a+b) \times c \times d$$



$$\text{容積} \cong 70/100 \times a \times b \times h$$